

使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

痔の痛み・はれ・出血・かゆみに

プリザエース坐剤

第2類医薬品

〈痔疾用外用薬〉

◆プリザエース坐剤は、ヒドロコルチゾン酢酸エステル等、痔の治療に効果的な8種類の有効成分が配合されています。これらの成分がはたらいて、痔の症状である痛み・はれ・出血・かゆみに効果をあらわします。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

① 次の人は使用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 患部が化膿している人。

② 長期連用しないでください



相談すること

① 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

② 次の場合は、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
その他	刺激感、化膿

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、 胸苦しさ等とともに、顔色が青 白くなり、手足が冷たくなり、冷 や汗、息苦しさ等があらわれる。

- (2) 10日間位使用しても症状がよくなる場合。



効 能

きれ痔(さけ痔)・いぼ痔の痛み・はれ・
出血・かゆみの緩和

用法・用量

次の量を肛門内に挿入してください。

年 令	15才以上	15才未満
1 回量	 1 個	使用しない こと
使用回数	1 日 1 ~ 3 回	

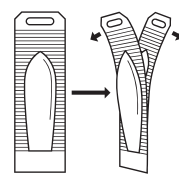
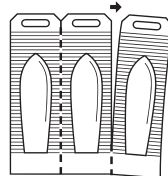
★ご使用の前に入浴するか、ぬるま湯で患部を清潔にし、朝の場合は排便後、夜の場合は寝る前に使用すると一層効果的です。

【注意】

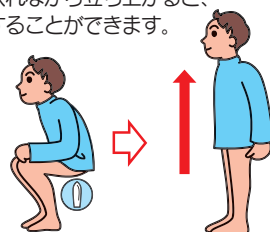
- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児には使用させないでください。
- (3) 本剤が軟らかい場合には、しばらく冷やした後に使用してください。また、硬すぎる場合には、軟らかくなった後に使用してください。
- (4) 肛門にのみ使用してください。

〔坐剤のとり出し方・挿入の仕方〕

- ① 1 個をミシン目から切りはなします。
- ② 合わせ目を左右に引きはがして坐剤を取り出します。



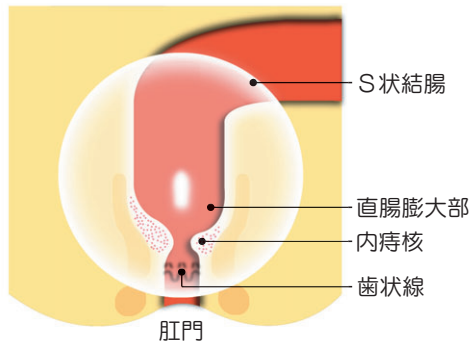
- ③ 肛門内に坐剤を挿入します。
すわった状態で坐剤を入れ、手でおさえて肛門に力を入れながら立ち上がると、簡単に挿入することができます。



※手でおさえ、
ゆっくり
立ち上がる

成分

1個(1.65g)中

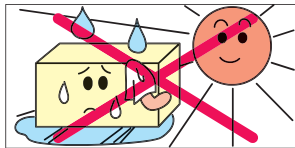


成分	分量	はたらき
ヒドロコルチゾン酢酸エステル	5mg	患部の出血・はれをおさえます。
塩酸テトラヒドロソリン	1mg	
トコフェロール酢酸エステル	60mg	血管を強くし、出血を防ぎます。
リドカイン	60mg	患部の痛み、かゆみをおさえます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	4mg	患部のかゆみをしずめます。
l-メントール	10mg	
アラントイン	20mg	傷口の治りをはやめます。
クロルヘキシジン塩酸塩	5mg	細菌の感染をおさえ、傷口の悪化を防ぎます。

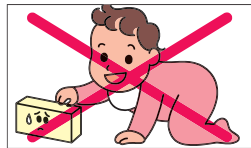
添加物：無水ケイ酸、カルボキシビニルポリマー、ハードファット、ステアリン酸グリセリン

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に保管してください。



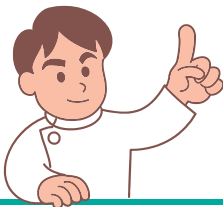
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。



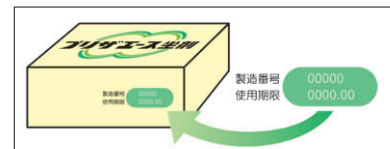
- (3) 保管する場合は、図のように坐剤の先を下に向けて外箱に入れ、外箱のマークに従って立てて保管してください。



- (4) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)



- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても開封後はなるべくはやく使用してください。(品質保持のため)



治療のポイント



排便後は入浴するか、ぬるま湯で洗う等、肛門を常に清潔にしましょう。また、入浴は患部の血行を改善するので、毎日入るよう心がけましょう。



アルコール類、刺激物(からし、わさび等)を多くとると、症状を悪化させることがあるので、なるべくひかえましょう。



便秘や下痢をしないよう心がけましょう。特に便秘の時には、煮た野菜や海藻類・果物等を多く食べ、便通をととのえましょう。



すわり続ける等、同じ姿勢を長く続けると、肛門部がうっ血するため、症状を悪化させやすいので、時々体操や散歩等をして、体を動かしましょう。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いいたします。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室
電話 03-3985-1800
受付時間 8:30~21:00(土、日、祝日を除く)



大正製薬株式会社
東京都豊島区高田3丁目24番1号
<http://www.taisho.co.jp>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話：0120-149-931(フリーダイヤル)